

KSTNET WEB版 2004年11月号

1.第1回学術研究発表会の報告

学術研修部

橋本 武樹 (メディカル・カレッジ青照館)

11月14日(日)に、くまもと県民交流館パレア第1会議室にて第1回学術研究発表会が開催されました。県士会主催の研究発表会としては初めての試みでしたが、会員・非会員合わせて約60名が参加し、なかなかの盛況となりました。成人・小児の各分野から計5題の研究が発表された後、日本言語聴覚士協会地方組織委員会委員の久保健彦先生から「日本言語聴覚士協会の現状と都道府県士会の協力体制について」というテーマでご講演をいただきました。

研究発表は経験2～3年目の若い先生からの発表が多く、またいわゆる高次脳機能障害などの新しい分野に積極的にチャレンジした意欲的な研究や、日々の臨床活動の実践をまとめた報告などが報告され、今後、県内での研究活動がさらに高まってゆくだろうことが十分に期待されました。

久保先生のご講演では、国内における言語聴覚士の活動の始まりから職能団体としての言語聴覚士協会の結成まで、言語聴覚士の歴史についてご説明いただいた後、協会の活動が県士会の活動が密接に関係していることを分かりやすくご説明いただきました。より質の高い臨床サービスを行うためにも、生涯教育活動が今後ますます重要になってゆくものと思われませんが、そのためにも全国組織としての協会の活動と、県士会レベルでの教育活動の両方を充実させてゆくことが重要であることがよく理解できるご講演でした。

学術研修部では今後もさまざまな教育研修活動を企画しておりますので、会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2.各ブロック活動報告

[東部]

新人紹介

☆熊本リハビリテーション病院

言語聴覚士

松

本 優子

今年の3月に福岡国際医療福祉学院を卒業し、4月より熊本リハビリテーション病院で働いています。入職より8ヶ月が経とうとしていますが、様々なコミュニケーション障害や嚥下障害を持つ患者様と関わっていくことの難しさを日々実感しながらも、先輩S Tの皆さんに支えられながら毎日奮闘しています。今後は、勉強会や研修会に参加し知識の向上に努めるとともに、小児から高齢者まで幅広く対応できるようなS Tになれるよう頑張っていきたいと思ひます。

[西部]

西部ブロックでは11月12日(金)にニュー天草病院において本年3回目の研究会を予定しております。また、12月10日(金)には忘年会を予定しています。ブロック外からの参加も歓迎しておりますので、ふるってご参加ください。

西部ブロック2004年度第3回学習会

日時：11月12日(金)18:40-19:20

場所：ニュー天草病院第一言語聴覚療法室

内容：症例発表「鼻咽腔閉鎖機能不全を呈した3症例-寒冷刺激法の効果と適応-」

演者 メディカル・カレッジ青照館 山口 信

鼻咽腔閉鎖機能不全により開鼻声を呈する患者様は多数おられますが、私(山口)の経験では伝統的なブローイングなどの技法では改善したためしがありませんでした(私のやり方が悪かったのかも)。今回寒冷刺激法を試行したところ、相当の回復を示した患者様がおられたので、その経験を皆様にお知らせしたいと思います。果たして訓練の効果なのか、自然回復か、そのあたりも含めてご検討いただければと思います。

[中部]

平成16年度 第3回中部ブロック会報告

9月17日(金)、熊本託麻台病院にて、平成16年度第3回中部ブロック会が行われました。13名の方が集まり、今回は「事務・臨床業務でのパソコンの活用」をテーマに勉強会を行いました。

パソコンのタッチスクリーンの紹介やユーザー補助を使用し片手でキーボードを使う方法やスクリーンキーボード、拡大鏡などといった患者さん方にも使える便利な方法を知ることが出来ました。パソコンでの訓練教材の紹介もありました。また簡単にパソコンのデータを整理する方法、調べものをするときに役立つ拡張子の使用法なども学び、臨床の中ですぐ使える実用的なパソコン操作の技を学ぶ事ができました。難しいと感じるパソコン操作もちょっとした知識を得ることで普段使っているパソコンを今以上に使いやすくなるのだなと感じました。今後電子カルテなどを導入する病院も増え臨床業務の中でパソコンは欠かせない道具になることは間違いないためもっともっとパソコンに対する知識を増やしていく必要性を強く感じた勉強会でした。

文責 熊本託麻台病院 新村
麻衣

次回の中部ブロック会は平成16年11月12日(金) 19時30分～あきた病院(担当壁村 美穂先生)にて、①検討会「維持期・療養の問題点」、②施設紹介を予定しています。

[南部]

寒い日が続いておりますがお変わりありませんか？

南部ブロックの活動報告をします。紹介宜しく願いいたします。

日時：平成16年11月20日(土) 15:00から17:00

場所：熊本県こども総合療育センター

内容：

1. 施設見学

2. 熊本県こども総合療育センターの紹介（STの業務を中心に）

3. 外来グループの取り組み

勉強会終了後17：30から懇親会をおこなう予定です。

*勉強会、懇親会ともに南部ブロック以外の方の参加も自由です。

お問い合わせ先は熊本県こども総合療育センター 電話 0964-32-1143

言語聴覚士 原 直子まで

[北部]

第2回北部ブロック会報告

今回、第2回目のブロック会を平成16年9月11日（土：PM2:00～3:30）に聖ヶ塔病院で開催いたしました。当院は、熊本市内ではありますが、周りは海や山といった、のどかな場所に位置しております。当日は7施設16名の方に御参加いただきました。先生方には拙い地図を頼りに、遠いところ御参加頂きまして誠にありがとうございました。

内容を①当院の概要紹介、②業務内容紹介・訓練質見学、③症例発表としまして、他施設の先生方の御意見・アドバイスを頂きました。当院のSTは皆経験が浅く、言語評価・訓練は然り、他スタッフとの連携や言語療法の啓蒙など手探りの状態です。今回のブロック会で、先生方と意見交換や多くのご指導を頂くことができ、大変有難く、またうれしく思っております。今後もブロック会や県士会などを意見交換・アドバイスを頂く良い機会とし、言語聴覚士として少しずつ成長したいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻よろしくお願い致します。

（聖ヶ塔病院 高嶋里美先生）

高嶋先生をはじめ、聖ヶ塔病院の先生方には、当日暑い中、駐車場の誘導などもしていただきました。本当にご苦労様でした。

次回、第3回北部ブロックを下記の日程で予定しております。多数の御参加お待ちしております。

平成16年12月18日（土）14:00～16:00

山鹿温泉リハビリテーション病院

3.学術研修部からのお知らせ

学術研修部では、県士会主催の研修会の様子を録画したものをビデオライブラリーにして会員に貸し出すサービスを行っておりますが、今回貸し出し可能なタイトルが追加されました。貸し出しをご希望の方は学術研修部 橋本（メディカル・カレッジ青照館）までお申込みください。

[貸し出し可能タイトル]（追加）

4. 第1回学術研究発表会（2004年11月14日）講演「日本言語聴覚士協会の現状と都道府県士会の協力体制について」（日本言語聴覚士協会地方組織委員会委員 久保 健彦先生）

60分

[貸し出しメディアの種類]

すべてDVD（テープメディアでの貸し出しは行っていません）

[貸し出し期間]

2週間

[費用]

1タイトルあたり300円（送料は別途必要）

[その他]

貸し出しビデオに関する著作権はすべて熊本県言語聴覚士会が保有していますので、いかなる形態での複製もご遠慮ください。

万一、紛失もしくは破損された場合には、1タイトルあたり3000円をお支払いいただきます。

[申し込み方法]

①氏名、②勤務先、③送付先住所と電話番号、Fax番号および④貸し出しを希望されるタイトルを明記して、橋本 武樹（メディカル・カレッジ青照館 言語聴覚療法学科）までE-mail かFaxにてお申込みください（お電話でのお申込みはご遠慮ください）。

E-mail hashimoto@seishoukan.ac.jp

Fax 0964-54-2213